

A. S. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

私がドイツ留学を目指すようになったのは中学 1 年生の時です。知り合いの大学生が見せてくれたドイツに留学した時の写真がきっかけです。私はその時、初めて見るドイツの美しい景色や建物に感動し、また、国籍が違う人々と交流する姿に憧れを抱きました。将来私もドイツに行きたいと強く思うようになり、ドイツに行くことが私の夢になりました。また、より留学への想いが強くなったのは高校生の時に、ドイツ、セネガルからの留学生と交流する機会があったことです。書道部に所属していた私は、彼らと一緒に拙い英語を使いながら、日本文化を楽しみました。それ以降、「いつか留学した時にはまた海外の人たちと書道をしたいな」と思うようになりました。高校在学時に「トビタテ！留学 JAPAN」の留学プログラムを使って留学を試みましたが、英語圏ではないことや語学力の問題から断念せざるを得ませんでした。周りからはなぜドイツにこだわるのか、他の国ならすぐに留学できるのではないかと提案されることもありましたが、自分の力でドイツに行き、実際に自分の目で見てみるまでは諦められないという想いがあり、大学生になってしっかり準備をしてから行こうと決めました。そのため大学に入学する前からドイツの協定留学に行くことを目指していました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

留学した時に、より多くの人々とコミュニケーションをとるには英語の学習が必須だと考え、Speaking, Listening, Reading, Writing の 4 技能をまんべんなく伸ばしたいと思い、英語英文学科に入り英語に毎日触れる環境に身を置きました。元々私は人前で英語を話すことが苦手で英語を話す機会を避けてきましたが、授業で何回も何回も英語でのプレゼンテーションを行ううちに、英語を話す楽しさを感じるようになるまでになりました。そして留学の出願には IELTS のスコアが必要であったため、更に英語力を伸ばしたいと思い、AES コースに応募しました。AES コースに入ってから英語への熱意を持つクラスメイトに囲まれ、とてもモチベーションが高まりました。毎日英語を話し、聞き、読み、書き、4 技能全てにくまなく取り組んだことで英語力は非常に伸びたと感じています。IELTS は過去問を複数解き、Writing や Speaking は様々な問題に対応できるよう、普段から意見を英語で考えるようにするなどして対策をしました。またドイツ語でもコミュニケーションを取れるようになりたいと思い、大学のドイツ語授業を取ったり、語学学校に通いました。また、ドイツ語技能検定や Goethe Zertifikat も積極的に受け、ドイツ語力も高めました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学先大学への出願や寮の手続きはオンラインで行いました。コロナの影響で用意しなければいけない書類が多く、慎重に準備しました。ドイツの場合はビザの手続きは入国後で良かったため、事前に申請する必要はありませんでした。入国後に行わなければならない手続きがたくさんあったため、寮の入居日を管理人の方に問い合わせ、オリエンテーションが始まる日より早めにドイツに到着する便の航空券を取りました。

④ 現地到着後

空港に到着後、タクシーに乗って寮まで移動しました。寮の管理人の方と手続きをした後、すぐに部屋に入ることができました。しかし、無線の Wi-Fi がなかったため、家電量販店に Wi-Fi ルーターを買いに行き、インターネットの線とつないで Wi-Fi を使用しました。オリエンテーションが始まるまで2週間程あり生活環境を整え、ビザ申請に向けての準備をしました。デュッセルドルフの市役所は住民登録をするために Web 予約をする必要があり、入国して1週間後に完了しました。またビザの申請をするために閉鎖口座を開設し、合わせて閉鎖口座から毎月振り込まれるお金を受け取るための普通口座も開設しました。事前の下調べした際に、滞在期間が短いとドイツの支店で口座を作るのは難しいという意見があったため、どちらもオンライン口座にしました（閉鎖口座：Expatrio、普通口座：N26）。書類を揃え、ビザ申請ができる外国人局(市役所とは別の場所)に行きましたが、ビザ申請を待つ人たちの長蛇の列があり、2度目に訪れた際に窓口まで行くことができましたが、ビザの交付は4か月待ちと言われ、“ドイツの外には出られるが入ることはできない”という仮ビザを代わりにもらいました。オリエンテーションでは学生証を貰ったり、市内を案内してもらったイベントがあったりと他の留学生と交流する機会がありました。

⑤ 語学研修期間

語学研修はありませんでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

ドイツ語の授業以外は、所属している学部の棟で授業を受けます。食堂があり、よく利用していました。とても安く、ドイツ料理を食べることができます。

◆ 履修科目

• Cross-Cultural Psychology

心理学の観点から異文化に対する接し方や、異文化間で起こる問題について学ぶ授業です。

• International Teamworking Skills

国際会議の様子の動画を見ながら、どのように異文化の人々と議論し問題を解決するべきかを考えます。

• **Social justice, decolonization and eurocentricity in music education**

音楽教育がどのように社会的な支配を受けているかを話し合ったり、異文化における音楽の使われ方を学びます。

• **In the City! Music and Urbanization in Cultural Perspective**

都市や街、日常生活の中にある音楽を探したり、建物のジェントリフィケーションや都市問題について学びます。

• **International Perspectives on Social Work and Practice - Part1**

ジェンダーやレイシズムなど世界的に注目されている問題にどのように向き合っていくべきかについて学びます。

• **German as a Foreign language (B1)**

教科書を使い様々なトピックをもとにドイツ語を学びます。発言する機会が多くとても難しかったです。

◆ **授業、レポート、定期試験**

• **Cross-Cultural Psychology**

学期の前半は教授による講義でしたが、後半の授業はグループでのプレゼンテーションによって授業が行われます。最後に最終レポートがあります。

• **International Teamworking Skills**

授業は集中講義で、講義形式で行われ、毎回の授業ごとに様々な分野について学びます。最終レポートがあります。

• **Social justice, decolonization and eurocentricity in music education**

集中講義で月曜日から金曜日まで午前から午後にかけて授業を受けます。自由に発言できる雰囲気があり、教授にも質問しやすかったです。最終日にプレゼンテーションがあります。

• **In the City! Music and Urbanization in Cultural Perspective**

月曜日から金曜日までの集中講義で、午前は講義、午後は課題提出でした。最後にレポート提出があります。

• **International Perspectives on Social Work and Practice - Part1**

授業は講義形式で教授は授業毎に変わります。最後に 10~15 ページのレポート提出があります。

• **German as a Foreign language (B1)**

講義形式で授業を受け、毎回宿題があります。最後にそれぞれ選択したトピックで 10 分間のプレゼンテーションをします。最終回にテストを受けます。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

日本デーという日本文化のイベントにボランティアとして参加しました。私は日本企業主催の写真ブースで案内をしたり来場者の方に印刷した写真を渡したりするボランティアを

しました。かなりの数の来場者数で日本デーはとても大盛況に終わり、写真ブースで海外の方々が着物を着て嬉しそうに写真を撮る姿を見て日本人としてとても誇らしい気持ちになりました。日本文化の普及に少しでも携われたので、応募してよかったなと思います。

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

現地での住まいは一人部屋でキッチン、トイレ、バスルーム、家具が揃っており、とても快適な部屋でした。事前に寮の申し込みをし、こちらからは部屋のタイプを決めることはできませんでしたが、新しく綺麗で治安も良かったです。寮から大学まではトラムを使って 40 分ほどかかります。食事は近くにスーパーがあったため、自炊をすることが多く大学で授業がある日は大学の食堂で食べました。Mensa カードを寮前のカフェテリアで受け取り、そのカードにチャージし、洗濯機を使用するときや大学の食堂や自動販売機で IC カードとして利用できました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

1 セメスターだけだったので長期の休みはありませんでした。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

帰国時期が夏休み前だったので夏のインターンシップに参加できるよう、情報集めや応募などを空いた時間にしていました。面接用のカッターシャツと応募用の写真を持っていっておけば良かったなと思います。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

ドイツで出会った友達との時間は本当に貴重なものでした。人見知りであったため、なかなか自分から誘うことに苦戦していましたが、次第に友達の輪を広げ、ボンに桜を見に行ったり、いろいろな国の料理を食べに行ったり、パーティーに行ったりと、日本ではできないような経験を一緒に楽しんだことがとても思い出に残っています。また、留学中にドイツ全土の交通機関が 1 か月間 9€ で利用できるというチケットが発売され、約 30 都市を旅行しました。授業が週 3 回だけだったので、週末はよく旅行に出かけました。有名な都市はほぼ訪れることができ、ドイツ各地の特色や建物、食べ物を知ることができ、各地で集めたお土産は大切な宝物です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

最初の役所での手続きやビザ申請がとても大変でした。また、初めての一人暮らしだったので、住むための環境を整え生活に慣れることにも時間がかかりました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

電車やバスの乗り方に初めは苦戦しました。改札がなく、車内で切符をチェックされるため、とても驚きました。そしてかなりの確率で電車の時間が遅れるため、旅程を立てる際は注意

が必要でした。また、寮前の大学でよくパーティーが行われることがあり、深夜まで大音量の音楽が流れていたことにも文化の違いを感じました。また街中はタバコを吸っている人が多く、吸い殻が道端にたくさん落ちていました。トイレは有料であることが多いです。日曜日と祝日はお店が閉まってしまうので事前に買いだめしておくと思います。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

デュッセルドルフ専門大学に通う人々の年齢はとても幅広く、留学生も多いため、様々な国の人たちと交流ができます。そのため、授業内容もかなり濃く、他の生徒の意見を理解することも難しいな思う時がありました。しかし、本当に様々な意見を聞き、初めて考える議題も多かったため貴重な時間でした。また、大学から案内されたエラスムスのバディ制度を使い、同じ学部の女の子とバディを組んでいました。英語を話す機会が増え、ドイツでのパーティーのルールや教育制度などいろいろなことを教えてもらいました。また学生証を見せるだけで交通機関が一部を除き乗り放題であったためとても便利でした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

レポートの提出がとても多いためパソコンがあると便利だと思います。また、他の国からの留学生とお土産の交換をすることもあったため、日本のお土産を持っていくと良いと思います。またヨーロッパは日差しがかなり強かったため、日傘や日焼け止めクリームもあると良いと思います。その他にも薬や日用品は日本から持ってきたものをよく使っていました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

現地で仲良くなった友達とよくカフェに行き一対一で話す時間をたくさん作るようにしました。次第に途切れることなく話せるようになり、聞き返さなくても理解できるようになりました。授業ではリスニングの向上をとても実感しました。各国からの留学生は英語に特徴があり、聞き取るのが難しい時もありましたが、聞き取った内容が合っているかどうか確認しあうなどして楽しく会話をすることができるようになりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

自身の経験値を上げたい、日本では見られないものを見たいと思う人にとって留学は非常に良い選択肢だと思います。留学は自分との戦いでもあり覚悟も必要としますが、必ず素敵な出会いがあります。振り返ると大変だったことも苦しかったこともたくさんありますが、それ以上に留学に行かないと得られなかった気づきや人との出会いがありました。挑戦してみようという気持ちがある方はぜひ行って見てほしいです。本当にかげがえのない時間になると思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私の中で1番の目標がドイツ留学であったので、留学してから次の夢を見つけようと思っていました。留学中は、自分と向き合う時間がたくさんあり、自分の良いところ悪いところを知ることができ、それにより将来の自分の進路についてよく考えることができました。そしてたくさんの経験をしたことで、次にやりたいことも見つかり、留学は私の人生の重要な分岐点になりました。また何回もドイツを訪れたいと思います。

V. 写真



ドイツ語のクラスメイトとの写真です。教授が外で授業をすることが好きだったので、よく芝生の上で授業を受けていました。とても仲が良く、休み時間はドイツ語で会話したり、旅行のお土産を交換したりととても楽しいクラスでした。



日本デーの時にボランティアをした時の写真です。日本人ボランティアの方もたくさん参加されており、法被（はっぴ）を着てボランティアをしました。



タンデムを組んでいたドイツ人の女の子と書道をした時の写真です。留学中に特技である書道をドイツで出会った友達としたいと思っていたのでとても嬉しかったです。



デュッセルドルフに移動式遊園地(キルメス)が来ていた時の写真です。アトラクションがたくさんあり、とても楽しかったです。最後には花火が上がりとてもきれいでした。



これはハイデルベルク城からの眺めです。私が一番おすすめしたい街で、旧市街や城からの眺めはとても美しいです。